



春のITフォーラム2006

～ 実践ソリューションセミナー ～

# 電子帳票保存法対応への理想と現実

2006年2月22日

ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社  
システム・サービス事業部  
山本 幸志

 AGENDA

- 電子帳簿保存法の概要
- 電子帳簿保存法対応のメリット
- 電子帳簿保存ソリューションのタイプと特徴
  - フォルダタイプとDBタイプ
- 事例のご紹介
- まとめ・質疑応答

※本資料の中に記載の社名及び商品名、サービス名などは、各社の商標または登録商標です。

## ❖ 電子帳簿保存法の概要

- 電子帳簿保存法(平成10年施行)の趣旨

### 第一条

この法律は、情報化社会に対応し、国税の納税義務の適正な履行を確保しつつ納税者等の甲税関係帳簿書類の保存に係る負担を軽減するため、電子計算機を使用して作成する国税関係帳簿書類の保存方法等について、所得税法(昭和40年法律第33号)、法人税法(昭和40年法律第34号)その他の国税に関する法律の特例を定めるものとする。

⇒紙の保存による負担を軽減するために出来た法律。

コンピュータから出力される帳票について、一定の要件を満たしていれば、他の方法で保管して良い。

## ❖ 電子帳簿保存法の概要

- 電磁的な帳簿保存の方法

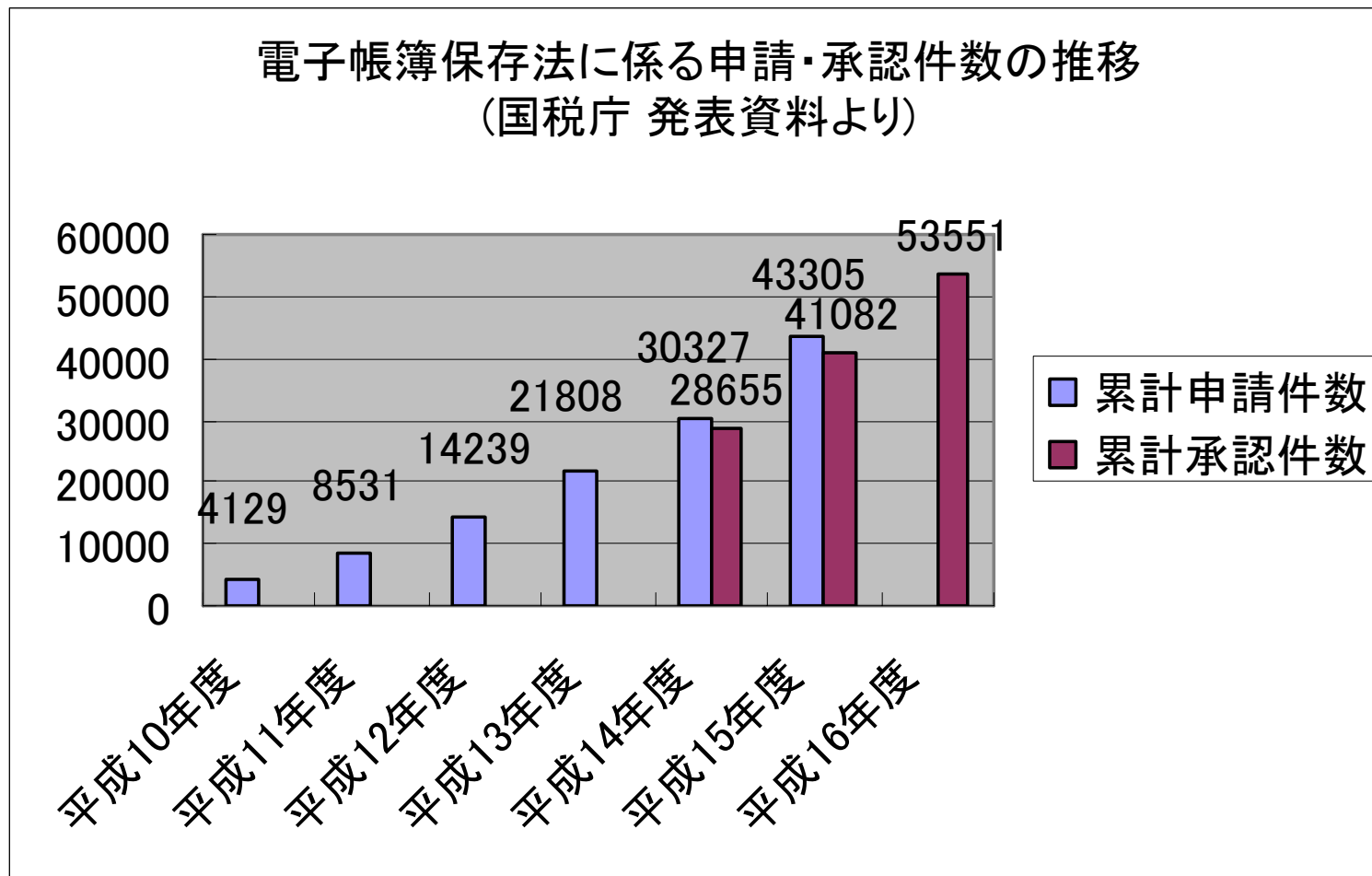
### 第四条二項

保存義務者は、国税関係書類の全部又は一部について、自己が一貫して電子計算機を使用して作成する場合であって、所轄税務署長の承認を受けたときは、大蔵省令で定めるところにより、当該承認を受けた国税関係書類に係る電磁的記録の保存をもって当該承認を受けた国税関係書類の保存に代えることができる。

⇒ (一定の要件を満たした) 基幹システムなどから紙で出力している帳票をHDDやテープなどで保存して良い。

# 電子帳簿保存法の概要

- 申請帳票数の伸び



## 電子帳簿保存法の概要

- 申請の方法
  - 申請書・添付書類、管轄の税務署に提出
  - 国税庁 電子帳簿保存法関係 手続き  
<http://www.nta.go.jp/category/yousiki/denshityoubo/mokuji.htm>
- 提出時期
  - 電子帳簿については備付開始、電子書類は保存の開始日のそれぞれ3ヶ月前

⇒帳簿・書類の種類ごとに1帳票、保存する拠点単位で可能。

# 電子帳簿保存法の概要

## 電子帳簿保存申請書

国税関係書類の電磁的記録等による保存の承認申請書 書類

国税署受付印

平成 年 月 日

税務署長  
(所轄外税務署長)

税務署長

電子計算機を使用して作  
成する  
第4条第2項  
第5条第2項

1 承認を受けようとする国税関係書類の種類

書類の種類	名称
根拠税法	

国税関係帳簿の電磁的記録等による保存等の承認申請書 帳簿

	※整理番号	
平成 年 月 日	(フリガナ) 住所又は居所 (個人の事件) 〒 町 丁目 番 号 号 (電話番号 - - )	
税務署長殿 (所轄外税務署長)	(フリガナ) 名称(屋号)	
税務署長殿	(フリガナ) 氏名 (個人の事件) 代表者氏名	◎
税務署長殿	(フリガナ) 代表者住所 (電話番号 - - )	

電子計算機を使用して作成する国税関係帳簿書類の保存方法等の特例に関する法律  
第4条第1項  
第5条第1項  
の承認を受けたいので、同法第6条第1項の規定により申請します。

1 承認を受けようとする国税関係帳簿の種類、備付けを開始する日及び保存場所等

帳簿の種類	備付け開始日	保存方法	納税地等(上段) 保存場所(下段)
根拠税法	年 月 日	電磁的記録 C O M	
	年 月 日	電磁的記録 C O M	

## ❖ 電子帳簿保存法対応のメリット

- 導入のメリット(紙保存の負担の軽減)
  - 帳票の仕分け・検索等の手作業の減少
  - 帳票保管のためのスペースが減少
  - 用紙代の減少
- 導入効果の大きい帳票
  - 出力枚数が多い帳票
  - 複数の拠点で出力、集めて管理している帳票
  - 参照の頻度が高い帳票

## ❖ 電子帳簿保存法対応のメリット

- コスト削減の試算例

- 帳票の仕分け等(人件費) 140万円/年

- (本社)40万円(/1ヶ月) × 1/6(作業割合) × 12ヶ月  
= 80万円(1票/年)

- (拠点)40万円(/1ヶ月) × 1/24(作業割合) × 3(拠点数) × 12ヶ月  
= 60万円(1票/年)

- 帳票保管場所(賃料) 60万円/年

- 5万円(/1ヶ月) × 12ヶ月=60万円(都心の6畳/年)

- 用紙代(減少分) 12万円/年

- 1円 × 10000枚(/1ヶ月) × 12ヶ月=12万円(1票/年)

⇒ 年間で 212万円分の経費節約

## ❖ 電子帳簿保存法対応のメリット

- 他にもこんなメリット！
  - 電子化しセキュリティ設定をすることで、紛失や持ち出し等の人災を最小化可能。  
⇒情報の漏洩対策になる。
  - 電子化されているためバックアップデータの複数箇所での保管が可能になる。  
⇒災害対策になる。

## ❖ 電子帳簿保存ソリューションタイプと特徴

- フォルダタイプ
  - エクスプローラーのような使用感
  - 製品がシンプルで分かりやすい
- DBタイプ
  - DBを利用するような使用感
  - 様々な検索をすばやく実現可能

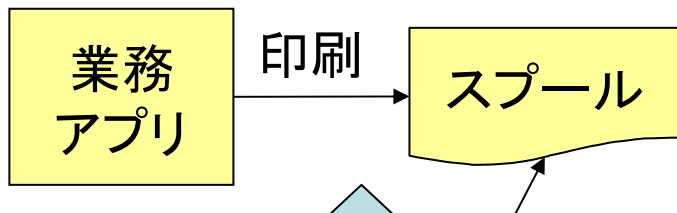
## ❖ フォルダタイプのソリューションの紹介

### 三菱電機ビジネスシステム e-image

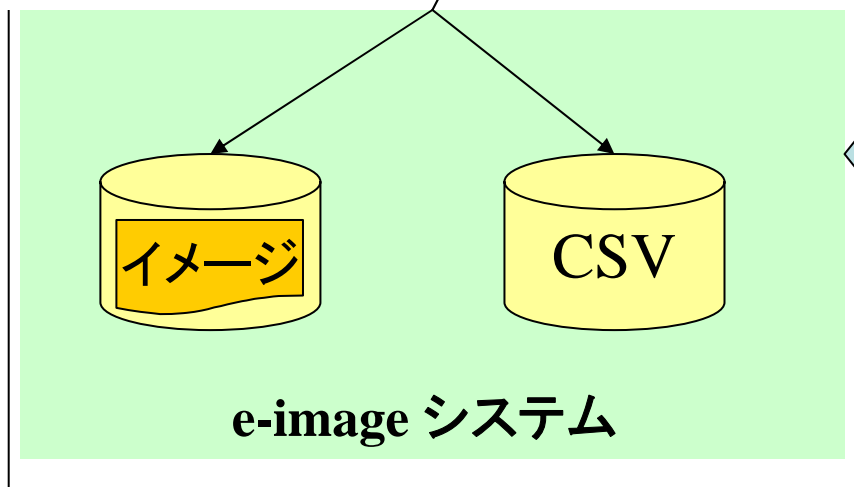
- エクスプローラーのような階層構造
  - PCのような感覚で扱えるため、取り扱いが簡単。
  - 様々な切り口での検索には不向き。
- CSVファイルに柔軟に出力できる
  - あらかじめ設定しておくことで、帳票を取り込むと必要な情報を切り出し、CSVファイルを作成できる。
- 導入コストが安い
  - ビューワーがフリーライセンスであるため、使用するユーザー数が多くなると価格面で有利。
  - 専用のPCサーバーが必要となる点に注意。

# e-image 概念図

iSeries 基幹サーバー



PCサーバー

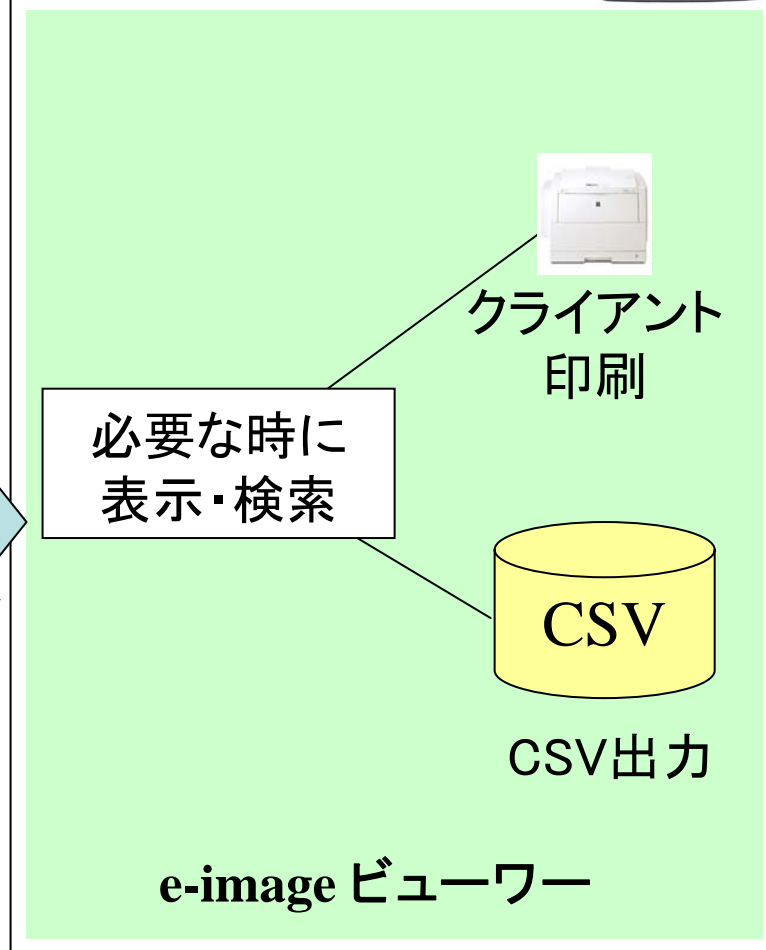


Upload  
Download

LAN

LAN

PC クライアント



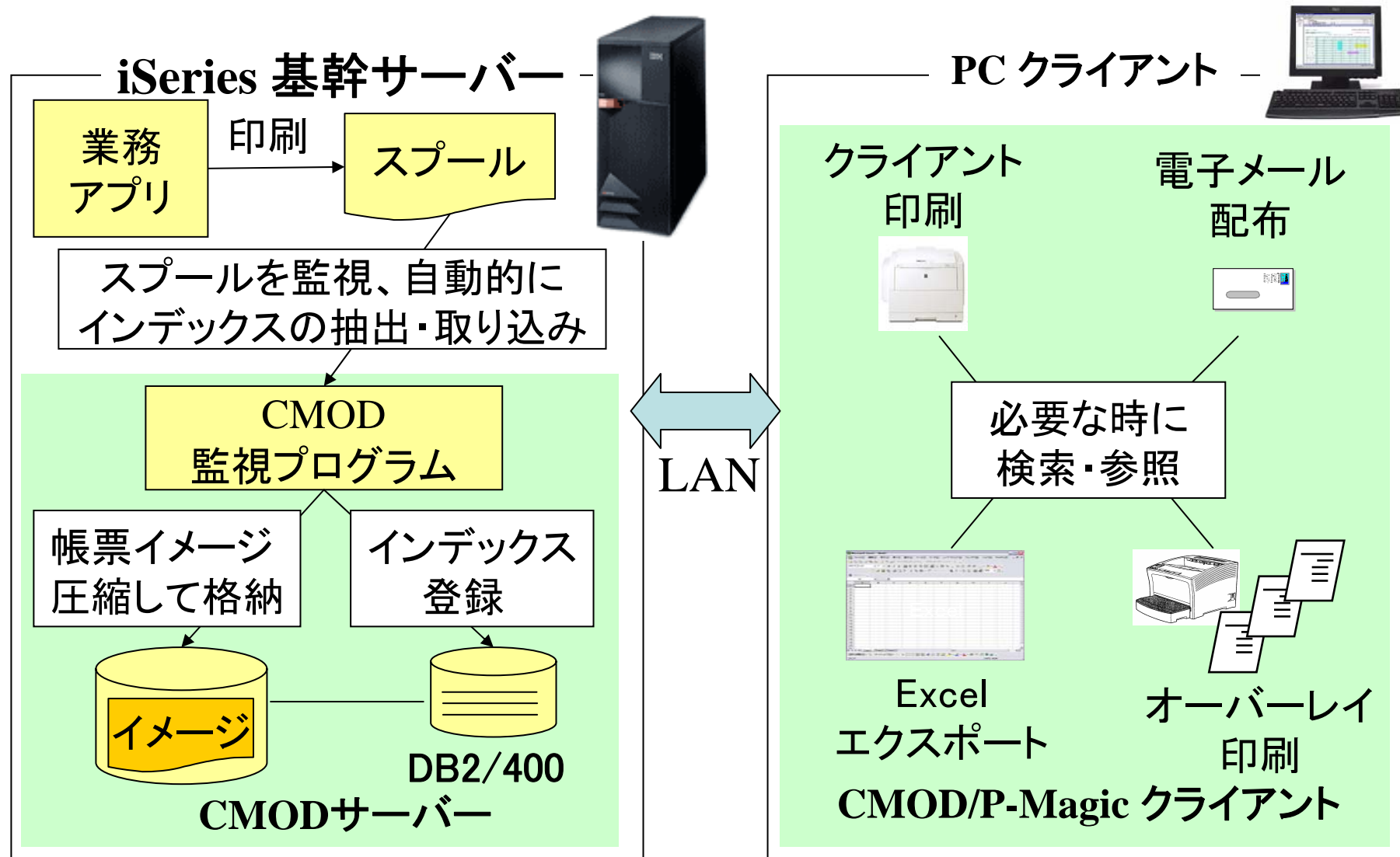
## DBタイプのソリューションの紹介

IBM CMOnDemand(※) + GBS P-Magic

- 検索情報をiSeries内のDBに保存
  - DBであるため検索が柔軟で非常に速い。
  - iSeries同様の保守・管理、セキュリティ機能。
  - 少し概念が難しく、設定にはなれが必要となる。
- Excelへの柔軟な直接出力が可能
  - Excelでテンプレートを作っておくことも可能。
- スプールファイルからデザイン性に優れたオープン環境での帳票の出力が可能
  - コンビニの振込み用紙などのバーコードやカラーでの出力が可能。

※以下CMODと表記

# CMOD + P-Magic 概念図



## ❖ 事例紹介～瑞穂医科工業株式会社様～

- 業務内容：医療機器の製造・販売
- 資本金：9,800万円
- 従業員数：380名
- 年商：91億円
- 拠点：本社、営業所7ヶ所、工場2ヶ所他

## ❖ 事例紹介～瑞穂医科工業株式会社様～

### 導入の経緯

- ペーパーレス化の実施が必要
  - 仕分けのため人的負担が大きい
  - 納品書等の保管のための場所の確保が困難  
(1ヶ月分で1万枚以上、ダンボール箱数個)
- iSeriesリプレースでのランニングコストの縮小
  - これまでのランニングコスト内で実施可能

## ❖ 事例紹介～瑞穂医科工業株式会社様～

- 使用ソリューション
  - CMOD（3クライアント）+ P-Magic
- 選定理由
  - リプレース予定のiSeries上で動作可能。
  - ご希望の機能要件を十分に満たしていた。

## ❖ 事例紹介～瑞穂医科工業株式会社様～

- 電子保管開始まで
  - 2005年1月 システムの導入・設定・教育(弊社SE)
  - 2005年3月 新納品書設定(ご担当者1名)
  - 2005年5月 帳票の申請
  - 2005年10月 電子保管開始
- 申請帳票
  - 納品書控、売掛元帳

## ❖ 事例紹介～瑞穂医科工業株式会社様～

### 使用前・後の期待と効果

期待：出力枚数月間1万枚以上の納品書負担減少

- 1日1時間程度かかっていた仕分け作業  
⇒月次でCMODへの取り込みと確認のみに。
- 納品書の保管場所を縮小  
⇒導入後の帳票は全てiSeries上に保管され、紙の保管スペースは不要に。

## ❖ 事例紹介～瑞穂医科工業株式会社様～

### ポイント

- 帳票の仕分けに費やしていた作業時間や場所等にかかる大きなコストの削減を実現。
- 電子帳簿保存のためのランニングコストをiSeriesのこれまでのランニングコスト内で。
- 申請はスムーズに完了。

## 事例紹介 ～Y社様 食品部門～

- 業務内容：食品の卸し・流通、物流他
- 資本金：90億円
- 従業員数：320名
- 年商：570億円
- 拠点：本社、工場2箇所（部門内）

## ❖ 事例紹介 ～Y社様 食品部門～

### 導入の経緯

- 以前よりペーパーレス化の要望があった
  - 帳票の管理・検索の人的負担がとて大きい。  
(常時1000箱保存、倉庫費用 15～20万円/月)
- 社内の業務改革の一環として
  - 導入効果が分かりやすい。
  - 着手しやすい価格。

## ❖ 事例紹介 ～Y社様 食品部門～

- 使用ソリューション
  - CMOD (20クライアント) + P-Magic
- 選定理由
  - 現在使用中のシステム(iSeries)上で動作可能。
  - 金額が他のものに比べても安価。
  - 運用・管理面からiSeriesのスキルを活用。

## 事例紹介 ～Y社様 食品部門～

- サービスインまで
  - 2005年10月 システムの導入・設定・教育(弊社SE)
  - 2005年12月 帳票の申請  
帳票の取り込み設定(ご担当者2名)
  - 2006年4月 電子保管開始予定
- 申請中の帳票
  - 経理 3票
    - 総勘定元帳、商品受払日報、売上明細書
  - 伝票 7票
    - 売上传票2種、指定伝票3種、売上明細、請求書(控)

## ❖ 事例紹介 ～Y社様 食品部門～

### 使用前・後の期待と効果

期待：月間数万ページに及ぶ伝票等に対する処理負担を減らし、検索も短時間で行いたい。

- 1日3000枚にも及ぶ伝票のばらし、仕分け作業  
⇒バッチ処理でCMODに取り込み(予定)。
- 社内のキャビネット・社外倉庫での帳票の検索、参照作業  
⇒PCから検索条件を入力、参照(予定)。

## ❖ 事例紹介 ～Y社様 食品部門～

### 想定外の出来事

- 食品部門のみで導入予定であったが社内での評価も高く、全社での対応に変更。
- システム開発の資料が揃っておらず、申請時に資料の準備に時間がかかった。
- 電子化にあたり、デザインの変更を迫られる帳票が発生。

## ❖ 事例紹介 ～Y社様 食品部門～

### ポイント

- 現場の帳票は人的作業にかかるコストが大きく、コストの削減・効率化が大幅に期待できる。
- 電子化することで、帳票のデータの参照にかかる時間を大幅に短縮することが可能。
- 申請時には社内システムの資料提出が求められることもある。

## ❖ 電子帳簿ソリューションの意外な使い道

- 帳票データの有効活用
  - 電子化された帳票からCSVファイルを作成し、Excelで様々なレポートの作成等に利用。  
(e-imageをご使用中のお客様)
- オープン環境での印刷
  - プリンタでのオーバーレイを廃止し電子化された帳票をP-Magicの機能でオーバーレイ印刷。  
(CMOD+P-Magicをご使用中のお客様)

## まとめ

- 電子帳簿の保存は1票から可能でそれほど難しいものではありません。
- コスト削減効果が分かりやすいため、業務改革のひとつとして取り組まれてはいかがでしょうか。

⇒電子保存、いっしょに始めてみませんか。